



国内女子ツアー「2019ワールドレディスチャンピオンシップ サロンパスカップ」にてPING契約 渋野日向子選手がツアー初優勝を飾りました。

今年からレギュラーツアーに参戦し、9試合中、トップ10入りは3回で優勝争いも経験。パターが好調で、平均パット数（パーオンホール）では1位を独走中。「PINGのクラブと契約した決め手は、打感なんです。フィーリングが自分にすごく合っていて、優勝という結果も出せたと思います。また、良いプレーができるようツアーレップのみなさんが優しく、フィッティングなどいつもサポートしてくれて感謝しています。今後もPINGのクラブで頑張ります。これから続くツアーでも2勝目、3勝目を目標して笑顔で頑張りますので、皆さまの応援をよろしくお願いいたします。」とコメント。また、同大会ではPING契約カリス・ティビッドソン選手も6位Tでフィニッシュしています。今後のPING契約選手の活躍にもご期待ください。

渋野日向子選手 クラブセッティング

ドライバー	G410 PLUS(9度) (ロフト:-1度/フラット、ウェイト:STD)	
FW	G410 (#3 ロフト:STD/フラット)	G410 (#5 ロフト:-1度/フラット)
ハイブリッド	G410 (19度 ロフト:STD/フラット) G410 (22度 ロフト:-1度/STD)	
アイアン	i210 (#5~#9、PW)	
ウェッジ	GLIDE FORGED (52度/58度)	
パター	SIGMA 2 ANSER (プラチナム仕上げ)	



注目ギア① 思い通りに打ってバーディを量産、「SIGMA 2 ANSER」パター

パターは、PING契約の鈴木愛選手や大出瑞月選手のバッチングを見て勉強し、練習を重ねました。私はやさしい打感が好きなので、今年からSIGMA2のANSERに変えたところ徐々にフィーリングが合い、この試合では自分の思ったところに打つことができ、スコアメイクできました。SIGMA2パターは、PINGの契約のみなさんも「なんて聞こえた?」に答えてますが、私には『ボン!』と聞こえます。音もしっかり聞こえるのですが、とにかくすごくやさしい打感ですね。このエースパターで、今後もさらに頑張ります!



二重構造インサート
ショートパットはソフトな打感で、ロングパットは打音で距離感が合う

PING独自のTR溝
ミスヒット時でもしっかり転がり、安定した距離感で3パットを軽減



注目ギア② ブレが少なくとにかく飛ぶ「G410 PLUS」ドライバー

G410 PLUSドライバーのお気に入りポイントは、曲がり幅が少ないこと。また飛ぶんです! だからパー5でも2オンできました。私は大きいヘッドのドライバーが好きなので、安心して振り抜けます。アマチュアの皆さんにも是非おススメです。



G410 PLUS ドライバー 「さらに、飛びをPLUS。」



3つのポジションで飛距離をプラス
渋野選手は「スタンダードポジション」

